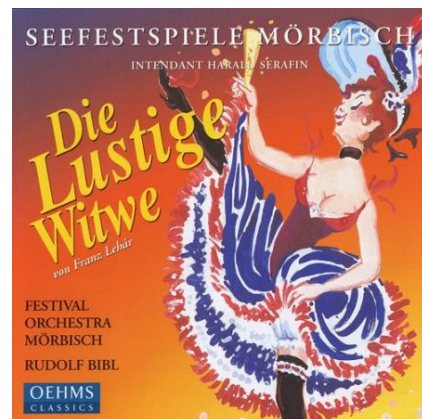


第2回クラシックを楽しむ会

2013年8月25日(日) 19:00~21:30

タイトル：喜歌劇「メリー・ウイドウ」(レハール)
会場等：メルビッシュ音楽祭 2005、オーストリア、
ノイジードラー湖特設ステージ
楽団等：メルビッシュ音楽祭管弦楽団、同合唱団、同バレエ団、
指揮：ルドルフ・ビーブル
出演：ハラルド・セラフィン、マルガリータ・デ・アレラーノ、
マティアス・ハウスマン
エリーザベト・シュタルツィンガー他

※正式なタイトルは Die Lustige Witwe、一般には Merry Widow、
意味は「陽気な未亡人」。



喜歌劇「メリー・ウイドウ」あらすじ

舞台はパリのポンテヴェドロ公国公使館庭園、大公の誕生日祝賀パーティー。公国の富豪の未亡人ハンナ・グラヴァリと元恋人で公使館書記官ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵、公使のツェータ男爵とその妻ヴァランシェンヌおよびヴァランシェンヌの恋人カミーユが主な登場人物。

国を憂えるツェータ公使は、もしハンナ未亡人が外国人と再婚すると莫大な資産流出で公国が破滅することから、ハンナをダニロと結婚させようとしている。

パリの伊達男カミーユは公使夫人ヴァランシェンヌを口説いている。ヴァランシェンヌはハンナとの結婚を勧めてかわすが・・・

みどころ聴きどころ

第1幕「ダニロ登場の歌」(マキシムの歌)、第2幕ハンナが歌う有名な「ヴィリアの歌」、同男たちの七重唱「女の研究は難しい」、同ダニロの「昔、王子と王女がおりました」、第3幕カンカン踊り、同ハンナとダニロの二重唱「唇は黙し」(メリー・ウイドウ・ワルツ) などみどころ聴きどころ満載！

メルビッシュ音楽祭とその舞台

メルビッシュ音楽祭はオーストリアのメルビッシュ・アム・ゼーで開かれるオペレッタ音楽祭。会場は6,000人収容可能。

メルビッシュ・アム・ゼーはウィーンの南東55kmに位置するノイジードラー湖畔、ハンガリー国境の町で一帯はワイン産地。ノイジードラー湖は琵琶湖の半分程度の大きな湖、湖の一部はハンガリー領。平均水深1mのステップ湖で世界遺産。



第3回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「アイダ」(ヴェルディ) ヴェローナ野外オペラ・フェスティバル
9月23日(月) 18時開場、18時30分上映

古代ローマ遺跡のアレーナで上演される名作「アイダ」は見逃せません！

※9月は3連休の月曜日、開始時間も30分早めます！！

ハラルド・セラフィン

ツェータ役のハラルド・セラフィンは音楽祭の名物男。彼はウィーンフォルクスオーパーのバリトン歌手で 1993 年に音楽祭の総監督に就任、昨年 2012 年の音楽祭を最後に引退。同じくウィーンフォルクスオーパーのルドルフ・ビーブルが指揮者、音楽監督を勤めてきたが 2008 年に退任。



「喜歌劇」と「オペレッタ」について

「喜歌劇」はイタリア語「オペレッタ」(小さなオペラ)の意識語。今日演奏されるほとんどの作品はドイツ語、一部フランス語作品で歌劇と同様の、大編成、長時間作品。

オペラに対してオペレッタは基本的に「喜劇」で軽妙な筋と歌をもつ娯楽的な作品が多い。このため正統派の「オペラ」が歌劇場で上演されるのに対して「オペレッタ」は歌劇場で上演されず巨匠と呼ばれる一部名指揮者は「オペレッタ」を振らないなどの傾向があった。

オペレッタの「黄金時代」と「白銀の時代」

19 世紀半ばドイツ出身オッフエンバックの「天国と地獄」がパリ市民の人気を博し世界中に広まった。彼のオペレッタはウィーンでスッペ、ヨハン・シュトラウスⅡ世らに受け継がれオペレッタの「黄金時代」を迎えた。ヨハン・シュトラウスⅡ世の「こうもり」がその代表である。

その後オペレッタの人気は下火になり低迷していたが、「こうもり」初演の 31 年後 20 世紀に入って初演されたレハールの「メリー・ウイドウ」が爆発的にヒットしてウィーンにオペレッタの「白銀の時代」といわれる隆盛期をもたらした。

「こうもり」と「メリー・ウイドウ」

「こうもり」と「メリー・ウイドウ」は共に現在最も多く上演される最高傑作であるが、ウィーンのアン・デア・ウィーン劇場初演時の人気では「こうもり」が「かなりの成功」を収めたのに対して「メリー・ウイドウ」は 500 回を超える大ヒットだった。世紀末、帝国末期の不安な時代の「現代劇」だったから洗練された娯楽を求めるウィーン市民の共感と呼んだと思われる。

フランツ・レハール

レハール (1870 年～1948 年) は軍楽隊長だった父の任地を転々とした。プラハ音楽院に学び、ヴァイオリン奏者、軍楽隊長の後、ウィーンの劇場の指揮者になった。有名なワルツ「金と銀」作曲後、「メリー・ウイドウ」の大ヒットで一躍名声を確立、「微笑みの国」などを作曲した。政治には無関心だったが夫人がユダヤ人なのに「メリー・ウイドウ」を愛したヒトラーに優遇され、戦後はナチ協力者として非難された。



1905 年初演当時の政治的時代背景

普墺戦争に敗れてできた妥協のオーストリア＝ハンガリー二重帝国、バルカン半島小国に影響力をもつロシア帝国、露土戦争に敗れたオスマン帝国。それぞれ民族運動、独立運動、革命運動に揺れていた。1905 年 (明治 38 年) は特別な年である。ロシア帝国は血の日曜日事件、日本海海戦敗戦、戦艦ポチョムキン反乱。オスマン帝国では後にトルコ共和国初代大統領になるケマル・アタチュルクが陸軍大学を卒業。アドルフ・ヒトラー実業学校中退 16 歳、ロシア帝国に同調したモンテネグロ公国は日本に宣戦布告、憲法を制定してモンテネグロ王国成立。

この後ロシア帝国は二月革命で、オーストリア＝ハンガリー二重帝国とオスマン帝国はドイツ帝国とともに第一次世界大戦敗戦でそれぞれ消滅する。